

ニチダイ (コード 6467 ジャスタック)

業績推移 (連結)

(予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常		当期		一株当 利益	一株当 配当	配当 性向
		伸び率	利益	伸び率	利益	伸び率			
06.9 中	6,006	+15.3	461	+9.6	266	+69.8	31.2	10.0	32.1
07.9 中	6,148	+2.4	512	+10.9	266	+0.3	29.5	8.0	27.1
07.3	12,095	+12.0	1,046	+30.4	543	+47.2	61.8	20.0 記	32.3
08.3(予)	12,500	+3.3	1,080	+3.2	570	+5.0	63.0	16.0	25.4

精密鍛造金型のトップメーカー

特色...「ネットシェイプ」技術(切削によらず、精密金型を使ってプレスで部品を完成品の形状に一発成形する加工法)を核に、自動車向けを主力とする精密鍛造金型のトップメーカー。主力の金型事業では、主にエンジン・トランスミッション・駆動系部品のギアなど、自動車部品の成形に使われる精密鍛造金型を製造。部品事業では、自動車部品、アルミ合金製エアコン部品などの精密鍛造品や、VG ターボチャージャー部品など独自技術によるアッセンブリ部品を生産。フィルタ事業は、食品、医薬品のろ過や化学プラント、ロケットの燃料系など、多様な分野で活躍。

07 年 9 月中間期は 2 ケタ経常増益に

部品事業、フィルタ事業が好調...07 年 9 月中間期は、部品事業およびフィルタ事業の好調などにより、06 年 9 月中間期比 2.4%増収、同 10.9%経常増益となった。VG ターボチャージャー部品における新機種への品種変更が順調に進み、部品事業売上が 26 億 6,700 万円(06 年 9 月中間期比 5.7%増)に拡大。また、食品用、航空宇宙産業用、石油掘削用などのフィルタ需要好調から、フィルタ事業売上も 6 億 4,500 万円(同 38.1%増)に伸びた。一方、中部地区や関西地区を中心とした新規案件停滞による国内金型事業の需要減少などから、金型事業売上は 28 億 3,500 万円(同 5.9%減)にとどまった。VG ターボチャージャー部品での工程安定化、不良率低下による材料費減、外注加工費減から、売上総利益率は 24.6%(06 年 9 月中間期 22.2%)に上昇し、経常 2 ケタ増益につながっている。

08 年 3 月期の通期も増収増益見通し

通期も増収増益へ...08 年 3 月期の通期は、前期比 3.3%増収、3.2%経常増益の見通し。年間配当については、前期の記念配 5 円を廃止し、普通配を 1 円増やして年 16 円を予定している。

事業別の状況...金型事業については、下半期に国内で主力部品メーカーの生産増や中部地区における新規案件需要増が見込まれ、アジアではインド地域での新規投資案件が、北米でも日系メーカーの部品量産の本格化が寄与しそう。10 月から精密鍛造金型の生産強化を目的とした「ものづくりプロジェクト」を開始しており、品質、コスト競争力、納期対応の向上を図り、同事業の強化に努める。フィルタ事業も海外向け石油掘削用フィルタの好調から下半期はほぼ計画通りの売上高の見通し。一方、この上半期に堅調な伸びとなった部品事業は、当初予定していた新品种の立ち上げが遅れるため、下半期は上半期と比較して売上減の見込み。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。